

平成29年度第4回南丹市社会教育委員会議 会議録

日時 平成30年2月1日(木) 午後1時30分～午後3時30分

場所 南丹市役所 3号庁舎 2階 第4会議室

会議出席者(順不同・敬称略)

社会教育委員 麻田健治、宇野 齊、上垣昌之、岡島賢峰、小南 仁、清水範子、
富田陽子、中野愛子、三觜宏孝

市教育委員会 山内教育次長、寺田社会教育課長、浅田課長補佐、村下社会体育係長、
森社会教育主事

傍聴人 0人

1.開会あいさつ 中野代表

昨年9月に市教育委員会教育長から、諮問をいただき答申をさせていただく時期となった。スポーツ推進計画については、生涯スポーツの競技力の向上ということで、スポーツを通じた健康づくり等色んな議論をされてきているところ。今回答申するにあたり、皆さん方のご意見、ご感想、ご提言等色々とお出しいただきまともめたい。

2.協議事項

・「南丹市スポーツ推進計画」諮問に対する答申(案)について

答申(案)を読み上げ答申内容の協議

(意見)

○何をするにしても地域の基盤がない事には進められない。

○自分の子どもの頃には、遊びの中で運動能力が育っていったと思うが、今の子ども達はそういう経験が少ないのか、うまく体が使えない子が多いように思う。そういう意味では子どもの頃に身につけておかなければならない力がつけられるような内容になっている。

○南丹市内に社会体育施設が多くあるが、十分機能を果たしていない。その中で、施設の向上についても記述されているのがよい。

○色んな子どもが集まり、スポーツ少年団やクラブ活動で活躍する中で、よい成績を得られることにより地元にもとどまってもらえないかと将来的には考える。そういう意味では地域がスポーツ施策を推進することとして、努力いただけるというのは非常にありがたいと思う。

○子どもの運動会の後に地域の運動会を催してきた。最近は、子どもが少なくなり、学校が閉校してからは地域の運動会もなくなった。昨年度、視察で行った竹野小学校の取り組みは地域と一体となっていて素晴らしいと感じた。そのような取り組みが各地区でもできればよいのと思うし、そのような取り組みが進められる仕組みづくりが大切だと感じる。

3 その他

・平成30年度南丹市教育の指針「社会教育指導の指針」（概略案）に係る意見聴取
次年度の社会教育指導指針の調整をはかり、30年度においても前年度の軸の大事な部分にはついては残しながら、新たな展開の箇所について説明。

（意見）

○特になし

4 閉会